

北区コミュニティバス（浮間地域ルート）運行案の概要説明会 意見概要

1. 説明会の概要

- 日 時：令和3年12月18日（土） 14:30～15:30
令和3年12月20日（月） 19:00～20:00
参加者数：令和3年12月18日（土） 33名
令和3年12月20日（月） 15名
- 意見受付期間：令和3年12月21日（火）～令和4年1月14日（金）
- 意見数：23件 ※類似の意見はまとめています。

2. 区民の皆さまからの意見

意見と区のお考え方は以下の通りです。

(1) ルート及びバス停位置に関する意見

No.	意見概要	区のお考え方
1	通常バスは駅から駅が起点終点となるが、赤羽駅の起点はどこになるのか。	赤羽駅西口のイトーヨーカドー前のバス停を共有で使用できるよう、現在、バス事業者と協議を進めております。
2	浮間一丁目に関して、どのような検討のもと、運行しなくなったのか。一丁目には主要な施設もある。 (3件)	北区地域公共交通計画では一丁目を通るルートでしたが、地域のご意見、バス事業者の提案、関係機関との協議を踏まえ、三丁目を通るルートに変更させていただきました。
3	今回のルート案は、北区地域公共交通計画から変更しており、居住者の多い地域を通るルートとなっている。 また、北医療センターへ行くために浮間地域から鉄道を利用して赤羽駅に向かい、そこからバスで北医療センターへ行く人は多い。その中には駅のエスカレーターに乗れない人もおり、赤羽駅からの移動が困難な状況である。 現在のルートに変更していただき、良かったと思っている。	
4	浮間二丁目付近のルートについて、西浮間小学校があるため、小学生の通学が多い。通学路近辺を運行する際には、子供たちの安全にも配慮していただきたい。	ルートやバス停の設置にあたりましては、交通管理者とともに、運行開始前にバスを通行させて、幅員や通学路などの確認を行い、必要に応じて注意喚起の看板設置など、安全の確保に努めてまいります。

5	<p>浮間地域ルート案で、一丁目、三丁目、四丁目は路線バスが運行していたバス停を共有し、二丁目、五丁目についてはバス停を新設すると説明があった。バス停を新設するには、地先の住民の了承も必要になる。設置が難しい箇所もあると思うが、今後、バス停位置が変更となる可能性はあるのか。</p>	<p>新たに設置するバス停については、地先の方の了承が必要となります。交通管理者とバス停の設置箇所を確認し、道路幅員や安全性に配慮したうえで、地先の方と調整のうえ、設置箇所を決定してまいります。</p>
6	<p>以前は路線バスが赤羽北方面を通るルートで運行していた。1つのルートで概ね20分間隔の運行を検討するとあったが、今後、北赤羽駅から赤羽駅東口へ抜けるルートは出来ないのか。</p>	<p>赤羽北方面を通るルートについては、北区地域公共交通計画の中で、赤羽東地域ルートとしてコミュニティバスを運行する計画としております。北赤羽方面を運行ルートに含めるとルートが長くなり、運行間隔が延びるため、定時性の確保に課題が生じます。そのため、今回は浮間地域のみを運行ルートとして進めています。</p>
7	<p>赤羽北一丁目、環八沿いにも民間マンションや公営団地があるが、周辺には公共交通がない。公共交通機能の向上のため、赤羽北一丁目についても検討するべきだ。また、今後1系統ではなく2系統で運行することについて考えて頂きたい。</p>	<p>赤羽北方面を通るルートについては、北区地域公共交通計画の中で、赤羽東地域ルートとしてコミュニティバスを走らせる計画としており、今後、公共交通機能を向上させていく考えです。また、運行方法については、地域のご意見をいただきながら、ルートの変更なども検討してまいります。</p>
8	<p>高齢者にとって赤羽は買い物する場所として便利だが、赤羽へ向かうのに電車を利用することもある。赤羽駅最寄りのバス停がイトーヨーカドー前だと徒歩での移動が負担となる。赤羽駅内のロータリーに停車できないのか。(2件)</p>	<p>赤羽駅内ロータリーのバス停は発着便数が多く、コミュニティバスの新規乗り入れは困難であるため、赤羽駅西口のイトーヨーカドー前のバス停を共有で使用できるよう、現在、バス事業者と協議を進めております。</p>
9	<p>浮間舟渡駅前ロータリーでの乗降はできないのか。 ロータリーの左右2箇所に荷捌きスペースがあり、そこをバス停として利用できるのではないか。(2件)</p>	<p>浮間舟渡駅前ロータリーには、既存のバス停がありますので、そこを活用もしくは都道上へのバス停設置について、バス事業者及び東京都と調整、検討してまいります。</p>
10	<p>区民センター(ふれあいセンター)は、赤羽方面からの利用も多いが、停車しないのか。</p>	<p>区民センター周辺は、道路幅員上の都合によりコミュニティバスの通行及び停車が困難であり、区民センターにアクセスしやすい箇所にバス停の設置を検討してまいります。</p>

1 1	<p>継続運行のためには、収支率の維持が必要だが、現在のルート案だと工場地域、下水道局地域の住民利用が見込めない地域が含まれている。むしろ浮間一丁目の団地、ふれあい館、浮間セシモニーホール周辺の住宅地域を含めたルートを検討するほうが収支率、そして利用率向上に繋がると思う。</p>	<p>浮間四丁目、五丁目は公共交通機能を向上すべき箇所があり、バス停設置予定箇所周辺には住宅地もあります。利用が多い箇所だけでなく、公共交通機能を向上すべき箇所の解消という観点も含め、検討した結果、今回のルート案といたしました。</p> <p>運行ルートにつきましては、地域のご意見をいただきながら、継続して改善のための検討をまいります。</p>
-----	--	---

(2) 運行間隔に関する意見

No.	意見概要	区の考え方
1	<p>運行間隔は概ね 20 分間隔となっているが、時間帯によって便数が変わるのか。</p>	<p>全ての時間帯で概ね 20~30 分間隔での運行を予定しています。毎時間 2~3 本での運行を検討しています。</p>
2	<p>全ての時間帯で概ね 20 分間隔での運行は取り止めになると思う。通勤・通学として利用が見込める時間帯のみ運行本数を増やし、利用の少ない昼間の時間帯は無くしてよいと思う。運行間隔を気にせず運行を継続してもらいたい。</p>	<p>今後も、地域のみなさまに継続してご利用いただけるよう、検討を進めてまいります。</p>
3	<p>収支率については、50%以上という目標値があったが、1 時間に 1 本しか運行していないバスは不便である。</p> <p>浮間地域ルートのコミュニティバスは北医療センターの診療時間に沿った運行が必要となる。そのため、今回の運行案のように本数が多いほうが便利でよい。</p>	

(3) 収支率に関する意見

No.	意見概要	区の考え方
1	<p>収支率について、本格運行への目標値が50%という説明であったが、50%とした理由はあるのか。</p>	<p>収支率 50%という基準は、他自治体のコミュニティバスの収支率を参考として設定いたしました。</p> <p>なお、現行の K バスについては、収支率は 70%程度で高い状況です。</p>

2	収支率の改善が図れず、路線の休廃止となる場合は、事前に地元への説明はあるのか。	<p>運行取りやめを前提に取り組んでいるわけではありませんが、仮に休廃止となる場合には、事前に説明の場の設定を検討してまいります。</p> <p>コミュニティバスの運行事業において、他自治体では赤字が多く自治体の負担となっています。そのため運行取りやめの目安を設定したものです。</p>
---	---	---

(4) 資料に関する意見

No.	意見概要	区の考え方
1	20 ページのバスロケーションシステムの説明をして頂きたい。	<p>バスロケーションシステムとはパソコンや携帯電話でバスの運行状況を確認できるシステムのことです。バスのルート図や現在のバスの位置情報、到着時間の目安などを確認できます。そのほかに、地図上のバス停を押すと時刻表の確認も可能なシステムです。</p>
2	ルート案の赤丸は既存ルートを示しているのか。また、乗車・降車のみ区間があるが、どういう意味なのか説明をお願いしたい。	<p>赤丸の記載は、深夜バスのバス停を指しており、バス停を共有する考えです。</p> <p>また、乗車・降車のみ区間（クローズドア区間）については、浮間方面から赤羽方面へ行く場合には、降車のみ、赤羽方面から浮間方面へ行く場合には、乗車のみとしています。</p> <p>これはコミュニティバス導入のガイドラインに則り、路線バスとコミュニティバスが競合することを避けるためです。両者は、料金体系が異なるため、重複区間において、乗客がコミュニティバスに流れてしまう可能性があります。</p> <p>コミュニティバスは、あくまで、路線バスを補完するという位置づけで行う事業であるため、重複区間では乗降に制限を設け、路線バスとの住み分けを行ってまいります。</p>
3	浮間地域の既存バスの表示は、現在運行している深夜バスの事を指しているのか。	<p>浮間四丁目の既存バスにつきましては、深夜バスを示しております。</p>
4	ルート図が分かりやすくなるように、オーケーなどの商業施設も入れて表示してほしい。	<p>分かりやすい表示に努めてまいります。</p>

(5) その他・感想

No.	意見概要	区の考え方
1	<p>浮間地域では路線バスが撤退してから5年程度経っている。浮間地域にコミュニティバスが新たに運行することとなりうれしい。高齢者の方たちも期待している。浮間三丁目から歩いて出かけるのは困難である。</p> <p>ルートやバス停が変わる可能性があるが、浮間地域にバスが走ることについては、みなさん喜んでいいる。</p>	<p>今後も、地域のみなさまに継続してご利用いただけるよう、検討を進めてまいります。</p>
2	<p>路線バスが浮間を通らなくなり、丸5年が経過した。通院や買い物、友達と会うことにも不便になっている。</p> <p>念願であるコミュニティバスを「スケジュール」よりも一日も早く、浮間を通るバスを希望する。</p>	<p>一日も早い試験運行開始を目指して取り組んでまいります。</p> <p>今後も、地域のみなさまに継続してご利用いただけるよう、検討を進めてまいります。</p>
3	<p>コミュニティバス導入ガイドラインの件について、文京区でも大きな通りでは、同じように乗降の制約を設けているのか。文京区は都バスの運行が多いが、都バスに対してもガイドラインが適応されるのか。</p>	<p>クローズドドア区間について、地方部では運用がみられますが、首都圏では運用がみられない状況です。</p> <p>ガイドラインにおいては、コミュニティバスと路線バスが実質的に競合することがないように十分検討すべきであるとされています。また、検討にあたっては、路線バスの事業者を含む関係者からヒアリングをすることが望ましいとされています。</p> <p>そのため、本運行案のルートが重複する区間については、バス事業者にヒアリング、協議を行い、クローズドドア区間を設けてまいりたいと考えております。</p>